



県内初の高病原性検出

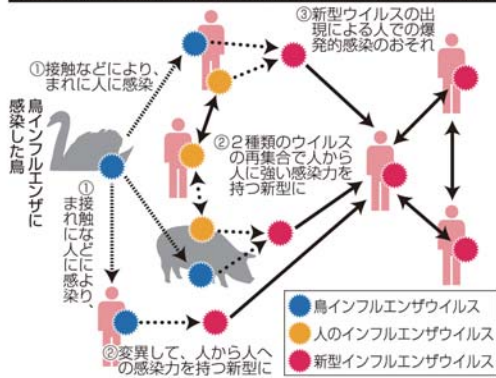
盛岡市の環境省、現地調査へ

盛岡市高松の高松池で23日に死んでいたオオハクチョウから検出された鳥インフルエンザウイルスが、高病原性（H5N6亜型）だったことが28日分かった。急調査チームを現場に派遣

同型のウイルスの検出は県内初。北海道大で行った確定検査結果を同日県などが発表。環境省は近く野鳥緊急注意喚起した。

同型のウイルスは感染力

鳥インフルエンザ（高病原性を含む）と新型インフルエンザの関連



極めてまれに人に感染

鳥インフルエンザウイルス 新型へ変異の恐れ

鳥インフルエンザウイルスは、極めてまれだが人に感染することがある。人から人に感染する新型インフルエンザウイルスに変異し大流行を引き起こす恐れも

あり、徹底した感染回避が求められる。獣医師でもある眞医療政策室の小野泰司感染症担当課長によると、鳥インフルエンザが発生した農場の近

くに住んでいたり、近くを通ったりするだけで人に感染することは通常考えられない」と話す。

中国などで人が鳥インフルエンザに感染した事例では、感染した鶏と濃厚に接触していた。

今回県内で確認されたH5N6亜型は、海外では人への感染例が数件ある。人から人への感染例は報告されていないが、万一人のインフルエンザウイルスと同時に感染すると体内で人に効率よく感染する新型インフルエンザウイルスに変異する恐れがある。

野生の鳥は、インフルエンザウイルス以外にも人に病気を起こす病原体を持っていることもある。小野課長は「死んだ野鳥や排せつ物などに触れた場合は、速やかにせっけんによる手洗いやアルコール消毒などの感染症予防対策をしてほしい」と呼び掛けている。

(2016年11月29日付・岩手日報29面)

1. 県内で初めて見つかった高病原性鳥インフルエンザウイルスは、いつ、どこで死んでいた何という鳥から検出されましたか。

いつ：平成 年 月 日 どこで：

鳥：

2. 岩手県では、感染力が強い今回の鳥インフルエンザウイルスへの対応として、どのようなことを呼び掛けていますか。3点書きなさい。

3. 次のア～オのうち、記事の内容として誤っているものはどれか、一つ選び記号で書きなさい。

- ア 鳥インフルエンザウイルスが人に感染するのは極めてまれであり、国内での人に感染した例はない。
- イ 鳥インフルエンザが発生した農場の近くに住んでいたり、近くを通ったりするだけで人に感染することは通常考えられない。
- ウ 鳥インフルエンザウイルスは、人から人へ感染する新型インフルエンザウイルスに変異して大流行を起こす恐れがある。
- エ 今回県内で確認された高病原性（H5N6亜型）鳥インフルエンザウイルスは、海外では人への感染例がなく、人から人への感染例も報告されていない。
- オ 高病原性（H5N6亜型）鳥インフルエンザウイルスと人のインフルエンザウイルスを同時に感染すると、体内で人に効率よく感染する新型インフルエンザウイルスに変異する恐れがある。

年 組 名前